

令和6年度 社会福祉法人希望の家 事業報告書

(自令和6年4月1日 至令和7年3月31日)

I 法人の運営状況

1 理事会の開催

会議名・開催日	理 事	監 事	議 題
第266回理事会 令和6年4月5日 希望の家会議室	出席 6 欠席 1	出席 1 欠席 1	・令和6年度体制について ・施設見学（内部）
第267回理事会 令和6年6月5日 倉吉福祉センター	出席 6 欠席 1	出席 1 欠席 1	・理事長及び施設の業務報告 ・令和5年度事業報告、決算報告及び監査報告 ・令和6年度第1回補正予算 ・評議員選任・解任委員の選任について ・定時評議員会の招集事項について ・虐待事案の改善報告 ・令和5年度社会福祉充実残額について
第268回理事会 令和6年12月10日 倉吉福祉センター	出席 7	出席 2	・施設の業務報告 ・給与規程の一部改正 ・就業規則等の一部改正 ・新型コロナ感染に係る手当の支給について
第269回理事会 令和7年2月28日 倉吉福祉センター	出席 7	出席 2	・理事長及び施設の業務報告 ・就業規則の一部改正 ・パートタイム職員等就業規則の一部改正 ・令和7年度役員賠償責任保険について
第270回理事会 令和7年3月19日 ホテルセントパレス	出席 7	出席 2	・職員の解任及び選任 ・給与規程の一部改正 ・令和6年度第2回補正予算 ・令和7年度事業計画及び予算 ・評議員会の招集事項

2 監査の実施

実 施 者	監査内容・実施日	指摘及び報告事項
法人内部監査 (希望の家監事)	・ 令和5年度事業及び決算 令和6年5月27日	・ 無し

3 評議員会の開催

会議名・開催日	評議員	監 事	議 題
第53回（定時評議員会） 令和6年 6 月25日 倉吉福祉センター	出席 6 欠席 2	出席 2	・ 令和5年度事業報告、決算報告及び監査報告 ・ 令和6年度第1回補正予算 ・ 虐待事案の指摘事項と改善報告 ・ 令和 6 年度社会福祉充実残額
第54回（評議員会） 令和7年3月27日 倉吉福祉センター	出席 6 欠席 2	出席 2	・ 業務報告 ・ 令和6年度第2回補正予算 ・ 令和7年度事業計画及び予算 ・ 第三者評価について

4 その他会議の開催

会議名・開催日	第三者委員	職員	議 題
第三者委員との連絡会 令和7年3月27日 倉吉福祉センター	出席 2	出席 5	・ 苦情解決のまとめ ・ 虐待防止のまとめ ・ 第三者委員からの提言

Ⅱ 各事業の報告

* 1～3までは別紙各事業報告書参照

- 1 障害者支援施設 希望の家（短期入所事業及び日中一時支援事業含む） P 5
- 2 障害者支援施設 若竹の家（就労継続B・短期入所事業含む） P 8
- 3 共同生活援助事業所 グループホーム希望の家（短期入所事業含む） P 1 1

Ⅲ 運営管理の状況

1 各利用率他

サービス区分		令和6年度	令和5年度	令和4年度
		実 績	実 績	実 績
希望の家	施設入所支援	90.0%	90.7%	93.6%
	生活介護	84.9%	84.2%	89.0%
	短期入所延べ利用日数	0	14日（1人）	2日（1人）
	日中一時延べ利用日数	0	3日（1人）	0
若竹の家	施設入所支援	95.8%	88.7%	91.2%
	生活介護	73.4%	72.1%	96.2%
	短期入所延べ利用日数	264日（4人）	153日（3人）	85日（2人）
	就労継続B型	71.4%	75.0%	※ 54.5%
GH	共同生活援助	88.9%	98.1%	99.9%
	短期入所延べ利用日数	0	15日（1人）	0

※ 旧つつじ作業所

2 地域との関わり

項 目	内 容	回 数
実習受け入れ	・鳥取短大施設実習	1回（5, 6月）
	・倉吉養護学校現場実習	5回（6, 7, 10, 11月）
	・皆成学園利用体験支援事業	4回（4. 5. 7, 1月）
地域との交流	・希望太鼓演奏	1回（7月）
	・第21回きぼうまつり（内部のみ）	（10月）
	・近隣神社の清掃活動	3回（10, 12, 3月）
	・明倫地区作品展出品	1回（9月）
	・はばたき作品展出品	1回（11月）
	・あいサポート関係作品出品	1回（1月）
	・中部あいサポート関係作品出品	1回（12月）
	・市部落解放文化祭作品出品	1回（1月）
ボランティアの受け入れ	・えにしの会（歌と踊り）	2回（7, 3月）
	・県社協ボランティア体験事業	1回（7月）
	・倉吉打吹太鼓演奏	1回（1月）
職場体験	・倉吉西中学校	1回（10月）
公益的取り組み	・市社協との連携 - 特別会員加入継続 / 生活困窮者支援（2回とも不参加）	
	・社福法人和との連携 - 子ども食堂手伝い（休止）	

3 新型コロナウイルス感染症の対応

県内の感染状況を確認しながら、状況に応じて行事や外出等の制限を行った。また施設内において感染が確認された場合等には、直ちに対策会議を開催し、ゾーニングや感染者の看護等マニュアルに従って対応した。

1) 各種訓練等の実施

2) グループホーム災害対応等について

5 職員研修

6 各種受賞者

- IV

年間行事の実施状況（別紙参照 P14）

指定障害者支援施設 希望の家 事業報告

令和7年3月31日

1. 所在地 倉吉市みどり町3576番地1

2. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

3. 設立経過

昭和33年10月1日に生活保護法による「更生施設（定員30名）」として事業を開始。その後、昭和35年4月に「(旧)精神薄弱者福祉法」施行と同時に全国で2番目の「援護施設」として認可を受ける。

平成23年10月1日に「障害者自立支援法」（現在、障害者総合支援法）による新体系に移行し、障害者支援施設 希望の家となる。

4. 運営方針

- (1) 利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、保護並びにその更生に必要な指導及び訓練を適切に行なう。
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って施設障害福祉サービスを提供するように努める。
- (3) できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行ない、市町村、指定障害者支援施設や障害福祉サービス事業を行なう者、その他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。
- (4) 「鳥取県障害者支援施設に関する条例」に定める内容のほか関係法令を遵守し、事業を実施する。

5. 利用者定員他

- (1) 施設入所定員 38名
現員 36名（男性 18名 女性 18名）
9月 女性利用者1名退所（死亡）
1月 女性利用者1名入所
- (2) 生活介護定員 40名
現員 36名（男性 18名 女性 18名）
- (3) 平均年齢（施設入所）
60.3歳（男性 56.0歳 女性 64.6歳）
- (4) 平均障害支援区分 4.8

6. 職員組織

32名（所長（サビ管兼務）、次長、サービス管理責任者、栄養士、看護師4名、事務員3名、調理員4名、生活支援員17名：兼務有）

7. 短期入所

空床型。今年度利用はなかった。

8. 日中一時

（1）定員 4名

（2）利用状況

今年度利用はなかった。

9. 支援の概要

（1）生活介護（日中の支援）

障害や年齢・適性・希望等を配慮しながら、加工班、きらく班の2つのグループの中で創作活動や軽作業の機会を提供した。

日常生活に必要な訓練並びに情緒の安定と身の自立を図ることに重点を置いた支援等を行なった。また、外出や買物等、地域生活を意識した支援に努めた。

利用者の教養・娯楽については、自治会や施設主催の各種行事や喫茶等の余暇支援を通して行なった。

（2）施設入所支援（夜間、休日等の支援）

安心・安全な暮らしを送ることが出来るように、利用者個々の身体機能の変化に合わせて介助方法を見直した。また、手薄な休日・夜間の軽減できる業務を検討し、それを平日に行う事で、利用者支援にあたる時間の確保に努めた。

（3）個別支援計画

利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度保護者等に説明し、同意をいただいた。

（4）保健給食

ア 保健

利用者の障害の重度化・多様化、高齢化に対応するため、疾病予防、健康の維持・管理に努めた。また、総合健診をはじめ、各種検診等を実施し、疾病の早期発見・予防に努めた。

感染予防に努めていたが、新型コロナウイルスが9月施設内において感染拡大し、利用者34名、職員8名が罹患した。内、基礎疾患（慢性心疾患）のある利用者1名、呼吸状態が悪化し入院、急変し翌日逝去された。また、感染性胃腸炎が11月に利用者12名、職員7名が罹患した。

イ 給食

栄養管理と利用者個々の身体状況に配慮した食事ーソフト食、ゼリー食、ミキサー食等を提供した。

(5) 衛生管理

毎日朝夕 2 回の清掃・消毒、定期的な大掃除等によって施設内外を清潔に保ち、利用者の入浴、清拭支援等、個々の利用者に応じた支援を行なった。

(6) 苦情解決・虐待防止

上記のための委員会にて、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。また、関連する各種研修等に積極的に参加した。

虐待の芽を早い段階で抑えるための取り組みを強化した。週に 1 回、職員倫理綱領の読み合わせ、また月に一回、セルフチェックを実施した。

(7) 施設設備

業務用洗濯機を更新した。

非常照明器具を更新した。

車椅子対応軽自動車を購入した。(全事業所)

ワイヤレスアンプスピーカーを購入した。(全事業所)

災害用発電機 4 台を購入した。(全事業所)

(8) 第三者評価の受審 (12 月 4 日)

指定障害者支援施設 若竹の家 事業報告

令和 7 年 3 月 3 1 日

1. 所在地 倉吉市みどり町 3 5 7 6 番地 1

2. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

3. 設立経過

平成 9 年 4 月、更生施設「希望の家」から分離・独立し、授産施設「若竹の家」として定員 3 0 名で出発。平成 1 7 年 1 0 月のグループホーム立ち上げに伴い、「通所部」を併設。平成 2 3 年 1 0 月 1 日に「障害者自立支援法」（現在、障害者総合支援法）による新体系に移行し、障害者支援施設 若竹の家となる。

平成 2 3 年 1 0 月 1 日に設立された障害福祉サービス事業所つつじ作業所（就労支援 B 型）を令和 5 年 4 月 1 日に若竹の家に編入。

4. 運営方針

- (1) 利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、保護並びにその更生に必要な指導及び訓練を適切に行なう。
- (2) 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第 22 条第 1 項に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動その他の活動の機会を提供する事を通じて知識及び能力の為に必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また一般就労に必要な知識や能力が高まった者は一般就労への移行に向けて支援をする。
- (3) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って施設障害福祉サービス及び就労継続支援（B 型）を提供するように努める。
- (4) できる限り居宅に近い環境の中で、地域やご家族との結びつきを重視した運営を行ない、市町村、指定障害者支援施設や障害福祉サービス事業を行なう者、その他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。
- (5) 「鳥取県障害者支援施設に関する条例」に定める内容のほか関係法令を遵守し、事業を実施する。

5. 利用者定員

- (1) 施設入所定員 2 6 名
現員 2 5 名（男性 2 0 名 女性 5 名）
4 月 男性利用者 1 名入所
5 月 男性利用者 1 名入所
1 2 月 女性利用者 1 名退所
- (2) 生活介護定員 4 0 名
現員 3 1 名（男性 2 2 名 女性 9 名）

- (3) 就労継続支援（B型）定員 15名
現員 15名（男性 12名 女性 3名）
- (4) 平均年齢（施設入所）61.4歳（男性 61.6歳 女性 60.8歳）
- (5) 平均障害支援区分 4.16

6. 職員組織

29名（所長、次長、サービス管理責任者、栄養士、看護師4名、事務員3名、調理員4名、生活支援員11名、職業指導員2名、工賃達成指導員：兼務有）

7. 短期入所

- (1) 併設型（2名）及び空床型
- (2) 利用状況

4名（男性3名、女性1名）の利用で、延べ利用日数は264日でした。

8. 支援の概要

- (1) 日中の支援

a. 生活介護

障害や年齢・適性・希望等を考慮しながら、農業班、ハッピー班、スマイル班、オアシス班の4つの活動班の中で生産活動や創作的活動の機会を提供した。また、近隣の神社清掃を年数回実施し地域への奉仕活動も行なった。

b. 就労支援

今年度の作業種及び内容については、石田紙器（株）の紙箱折り、（有）ドアーズのペットフードのカット作業、（株）トンボ倉吉工房の封入作業、（有）サンパックのタグ通し、シール貼り作業、施設利用者の洗濯物配布等を中心として取り組んだ。

今年度の就労支援事業収益は約3,038,000円で、利用者へ支払う平均工賃月額額は約22,800円でした。

- (2) 施設入所支援（夜間、休日の支援）

日常生活に必要な訓練並びに情緒の安定と身の自立を図ることに重点を置いた支援を行った。また、社会性の拡大・余暇活動等の取組みも実施した。

- (3) 個別支援計画

利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度保護者等に説明し、同意を頂いた。

- (4) 保健給食

ア 保健

利用者の障害の重度化・多様化、高齢化に対応するため、疾病予防、健康の維持・管理に努めた。

コロナウィルス（8月1名）、インフルエンザ（12～1月7名）、感染性胃腸炎（12月8名）の罹患があり、感染対応を行った。コロナウィルスについては幸い感染拡大はなかったが、インフルエンザと感染性胃腸炎については終息までに時間を要し

た。

イ 給食

栄養と利用者個々の身体状況に配慮した食事や、ソフト食、ゼリー食、糖尿病食等の介護食、単位食を必要に応じ提供した。

(5) 衛生管理

毎日朝夕2回の清掃・消毒、定期的な大掃除等によって施設内外を清潔に保ち、利用者の入浴支援も毎日行なった。

(6) 苦情解決・虐待防止

委員会を設置し、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。また、関連する各種研修等に積極的に参加した。

1月に2件、ショートステイ利用保護者から支援及び職員の対応について苦情を受け対応した。

(7) 施設整備

若竹の家西側周辺アスファルト等の整備を行った。

(8) 第三者評価の受審(12月4日)

共同生活援助事業所 グループホーム希望の家 事業報告

令和7年3月31日

1. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

2. 各グループホームの名称及び所在地

(1) グループホーム たきがわ

住所 倉吉市関金町関金宿 1448 - 8

開設日 平成21年4月7日

(2) グループホーム せきがね

住所 倉吉市関金町関金宿 1448 - 8

開設日 平成21年4月7日

(3) グループホーム みどり

住所 倉吉市みどり町 3184 - 2

開設日 平成31年4月1日

3. 設立経過

平成17年10月に地域生活援助事業所グループホームみどり（男性4名）として開設。平成18年10月にグループホームいわき（女性2名）も開設（平成21年3月まで）し、共同生活援助事業所グループホーム希望の家として事業運営。平成21年4月たきがわ、せきがね両ホームの新規開設に伴い、一体型共同生活援助事業所 グループホーム希望の家とする。平成26年4月法改正に伴い、グループホーム希望の家に名称変更する。

グループホームみどりについては、平成28年10月21日の鳥取県中部地震により被災した為、事業を廃止したが、平成31年4月住所を移し新規に事業を開始した。

4. 運営方針

- (1) 利用者が自立を目指し、地域において共同して日常生活を営むことができるよう、利用者の心身その他の状況及びその置かれている環境に応じて、共同生活住居において食事の提供、相談その他日常生活上の援助を適切に行なう。
- (2) 事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

5. 利用定員他

(1) グループホーム たきがわ 6名（男性） 現員6名

(2) グループホーム せきがね 6名（男性） 現員6名

(3) グループホーム みどり 5名（女性） 現員5名

(4) 平均年齢 61.1歳（男性 61.0歳 女性 61.2歳）

(5) 平均支援区分 2.88

6. 職員配置及び支援体制

- (1) 職員数 17名（所長、次長《サビ菅兼務》、サービス管理責任者、看護師3名、生活支援員3名、生活支援員兼世話人6名、夜間世話人4名：兼務有）
- (2) 支援体制 世話人6名で、3ホームをローテーションして勤務し、「たきがわ・せきがね」に2名、「みどり」に2名夜間世話人を配置。

7. 短期入所

- (1) GH みどり 併設型（1名）
- (2) 利用状況 無し

8. 体験利用

- (1) 皆成学園利用体験支援事業に協力。みどりを利用し実施した。
- (2) 利用状況 1名（延べ12日）

9. 支援の概要

- (1) 利用者が安心して楽しく生活できるようにした。
- <平日>
- ◎ 居室等生活環境の整備、入浴支援・見守り、身辺処理等の部分支援をした。
 - ◎ 服薬、健康チェックの実施。
 - ◎ バランスの取れた食事の提供をした。
- <休日>
- ◎ 休日外出＜買い物（昼食購入等）＞に対応した。
 - ◎ 居室等生活環境の整備（掃除等）をした。
- <夜間>
- ◎ 入浴支援・見守り、治療、身辺処理等の部分支援をした。
 - ◎ 安心して夜を過ごしていただくよう見守りをした。
- (2) 地域住民、自治会等への理解と協力を求め、連携して支援できる体制を構築。
- ◎ みどり町のとんどさんに参加
- (3) それぞれの事業所と連携を図る。
- <利用者のサービス利用状況>
- ① 若竹の家（生活介護）利用 4名
 - ② 若竹の家（就労継続B型）利用 11名（うち3名は他事業所並行利用）
 - ③ その他 2名
- (4) 利用者の健康状態の把握。
- ◎ 定期的な訪問看護を実施した。
 - ◎ コロナウイルス罹患者2名あり（9月）、インフルエンザ及び感染性胃腸炎等の罹患者はなし。

(5) 安全な暮らしの確保。＜防災＞

◎土砂災害警戒区域指定による避難確保および対応を図った。

◎避難訓練、消防点検等、防災に関する取り組みを実施した。

(10/30、10/31、3/21、3/24)

◎大雨による臨時防災会議2回＜7/25、8/29＞（うち 8/30～9/1＜2泊3日＞
せきがね、たきがわメンバー（男子）のみ希望の家に避難した）

(6) 個別支援計画

利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度本人、保護者等に説明し、同意を頂いた。

(7) 苦情解決・虐待防止

委員会を設置し、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。GH世話人に対して年間2回の内部研修に加え外部研修（オンライン）も実施した。また週1回の倫理綱領の読み合わせや、月1回のセルフチェックも実施し、適切な支援への意識づけをする場面を積極的に設定した。

令和6年度GH事業においては苦情、虐待の報告および協議はなかった。

(8) 施設設備

せきがね2階床改修工事を行なった。

たきがわ事務所等の改修工事を行なった。

たきがわ3号室エアコンを更新した。

たきがわ・せきがね食堂の換気扇を更新した。

たきがわ・みどりにタイムレコーダーを設置した。

(別 紙)

令和6年度 年間行事等実施状況

行 事			理事会・会議・研修		防 災		健診・安全衛生		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4 月	1	辞令交付／永年勤続者表彰	5	第 266 回理事会			22	衛生委員会	3	皆成学園体験支援事業（GH～7 日）
	8	新年度体制	18	中国地区知的障害関係施設長会議（～19 日）						
	17	若竹の家 職員会	20	倉吉市手をつなぐ育成会総会						
	26	希望の家 職員会	24	県知福協代議員会						
			26	社会福祉施設経営法人連絡会						
5 月	17	GH 世話人連絡会	14	防火管理講習会（～15 日）	21	消防設備点検（～22 日）	20	衛生委員会	27	鳥取短大実習（2 名 ～6/8）
			17	社会就労センター協議会総会	27	中国電気保安協会点検			31	皆成学園体験支援事業（若竹～6/1）
			21	税理士監査						
			24	県知福協第 1 回施設長会						
			27	法人内部監査						
			29	公正採用選考人権啓発推進員研修会						
			29	就労支援ネットワーク会議						
			30	障がい者就労事業振興センター総会						
6 月	19	（若）デイキャンプ①	5	第 267 回理事会	19	貯水槽清掃	13	歯科検診	14	障がい者雇用セミナー
	21	（若）デイキャンプ②	5	障害者差別解消法に係る説明会			19	貯水槽清掃		
	26	イベント会食					24	衛生委員会	17	倉吉養護学校実習

行 事			理事会・会議・研修		防 災		健診・安全衛生		その他	
			10	食中毒・感染症発生防止研修会			27	救命講習①	24	(1名 ～21日) 倉吉養護学校実習
			12	県手をつなぐ育成会総会						(1名 ～28日)
			13	県知福協第2回施設長会					30	皆成学園体験支援事業 (GH～7/5)
			14	社会福祉施設経営者協議会総会						
			25	第53回定時評議員会						
7月	3	(若) デイキャンプ③	2	サビ管更新研修 (～3日)	23	消火訓練	10	救命講習②	5	中電工労組 車椅子寄贈
	13	県親善球技大会	4	中四国知的障害関係施設職員研究協議会 (～5日)	23	中国電気保安協会点検	18	コロナ対策会議	13	えにしの会(歌、踊り) 来所 (5名)
	17	(若) デイキャンプ④	8	障がい者虐待防止基礎研修	25	大雨防災会議	29	衛生委員会	24	ボランティア体験事業 (高校生1名～26日)
			17	社会福祉法人会計実務研修会					24	後援会総会
			19	サビ管更新研修 (22日)					27	みどり町夏祭り太鼓演奏
			19	後援会監査						
			23	市福祉施設連絡協議会						
			24	後援会役員会						
			25	キャリアパス対応生涯研修 (初任者コース ～26日)						
			25	労働セミナー						
8月	23	(希) 前期慰労会	5	全国知的障害関係施設長会議	29	防災会議 (台風10号)	1	コロナ対策会議	8	労働基準監督署調査
	30	(若) スマイル班慰労会	7	安全運転管理者法定講習			14	〃		
			8	都道府県経営協セミナー			19	〃	28	〃
			8	キャリアパス対応生涯研修			20	〃		

	行 事		理事会・会議・研修		防 災		健診・安全衛生		その他	
			19	(中堅職員コース ～9 日) 障がい者就労支援関係職員研 修会			22 26 28	〃 衛生委員会 嚙下講習		
			23	強度行動障がい支援者養成専 門研修①						
			26	労務管理研修						
			29	倉吉市社会福祉大会						
			30	県知福協第 3 回施設長会						
9 月	10	(若) 農業班慰労会	2	外国人活躍推進フォーラム	24	中国電気保安協 会点検	8	コロナ対策会議		
	11	(若) オアシス班慰労会	2	強度行動障がい支援者養成基 礎研修 (～3 日)			17	〃		
	12	(若) つつじ班慰労会					20	衛生委員会 (書面)		
	18	(希) 日帰り旅行①	5	キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース ～6 日)			25	コロナ対策会議		
	20	(若) ハッピー班慰労会					30	総合健診		
	22	中国地区球技大会	9	苦情受付担当者研修会						
	25	(若) 日帰り旅行①	10	就労支援ネットワーク会議						
	27	(希) 日帰り旅行②	12	採用力向上セミナー						
			17	福祉サービス苦情解決事業研 修会						
			19	社会就労センター協議会職員 研修会						
			20	強度行動障がい支援者養成専 門研修②						

	行 事		理事会・会議・研修		防 災		健診・安全衛生		その他	
			24	障害者雇用トップセミナー						
			26	労働セミナー						
			27	福祉サービス苦情解決研修会						
10 月	1	創立記念日	1	強度行動障がい支援者養成実	25	火災避難訓練	8	若竹 感染症講習	11	八幡神社清掃
	8	若竹の家 職員会		践研修（～2 日）	28	消 防 設 備 点 検	9	嚙下講習	18	倉吉西中体験 9 名
	10	GH世話人連絡会	10	強度行動障がい支援者養成専		（～29 日）	11	希望 感染症講習	21	倉吉養護学校実習
	11	希望の家 職員会		門研修③	30	GH たきがわ・せ	28	衛生委員会		（1 名 ～25 日）
	19	第 21 回きぼうまつり	15	障がい者虐待防止等研修		きがね避難訓練			28	倉吉養護学校実習
	23	（若）日帰り旅行②	28	人権尊重のまち倉吉を考える	31	GH みどり避難				（1 名 ～11/1）
	26	手をつなぐスポーツ祭り		懇談会		訓練				
	30	（若）1 泊旅行①（～31 日）	31	労働セミナー						
11 月	6	（若）1 泊旅行②（～7 日）	5	強度行動障がい支援者養成専	19	中国電気保安協	22	インフルエンザ予防	11	倉吉養護学校実習
	8	（希）日帰り旅行③		門研修④		会点検		接種①、コロナワク		（1 名 ～13 日）
	18	（希）旅行代替行事	7	県就労協施設長研修会				チン予防接種	20	防犯講習
	21	（希）日帰り旅行④	8	施設職員交流実践研修会			25	衛生委員会		
			14	キャリアパス対応生涯研修（管			26	インフルエンザ予防		
				理職コース～15 日）				接種②		
			15	権利擁護勉強会						
			19	強度行動障がい支援者養成専						
				門研修⑤						
			19	障害者虐待防止研修						
			20	リスクマネジメント研修						

行 事			理事会・会議・研修		防 災		健診・安全衛生		その他		
			21	中四国社会就労センター協議 会職員研修会（～22 日）							
			25	市社協在宅福祉部会							
			26	GH 世話人研修①							
12 月	4	第三者評価訪問調査	4	GH 世話人研修②	20	火災避難訓練	11	コロナ対策会議	6	GH 体験(1 名～10 日)	
	18	GH 実地指導	10	第 268 回理事会			20	嚥下講習			
	18	（若）つつじ班クリスマス会	12	強度行動障がい支援者養成専門研修実践報告会			23	衛生委員会			
	25	（希）クリスマス会	13	倉吉市社会福祉協議会理事会			27	コロナ対策会議			
	25	（若）クリスマス	22	権利擁護セミナー							
	26	もちつき	25	県知福協第 4 回施設長会							
1 月	9	希望の家 新年会	10	鳥取県栄養管理研修会	22	中国電気保安協 会点検	20	衛生委員会	9	打吹太鼓来所（4 名）	
	22	（若）オアシス班新年会	22	権利擁護セミナー			22	胃がん・大腸がん検 診（利用者）			
	24	（若）農業班新年会	29	要介助高齢知的障がい者支援 研修会			22	検診（夜勤者）			
	28	（若）スマイル班新年会					28	婦人科検診(利用者)			
	29	（若）ハッピー班新年会					30	コロナ対策会議			
										26	皆成学園体験支援 事業（GH～31 日）

	行 事		理事会・会議・研修		防 災		健診・安全衛生		その他	
2 月	5	(若) つつじ班新年会	14	社会福祉法人人事管理研修会	26	防 災 支 援 セ ミ ナ ー	4	コ ロ ナ 対 策 会 議 衛 生 委 員 会	4	GH 体 験 (1 名～
	20	若竹の家 職員会	19	知福協食生活・保健分科会研修会			17			
	27	希望の家 職員会								
	27	イベント会食	26	都道府県経営協セミナー						
			28	第 269 回理事会						
			27	鳥取短大保育連絡協議会						
3 月	7	(若) オアシス班慰労会	4	倉吉市施設職員全体研修会	7	地 震 避 難 訓 練 夜間想定避難訓練	6	嚙下講習 衛生委員会	18	えにしの会(歌、踊り) 来所(5名)
	11	(若) つつじ班慰労会	5	県知福協第 5 回施設長会議			17		19	
	13	内部研修「私が社会に出るまで」	13	市社協第 4 回理事会	21				24	
	14	各事業所代表者会	18	倉吉市共同募金委員会運営委員会	21	中国電気保安協会点検				
	17	(若) 農業班慰労会	19	第 270 回理事会	21	GH みどり避難訓練				
	18	希望の家 慰労会	25	県知福協 60 周年イベント	24	GH たきがわ・せきがね避難訓練				
	21	GH 世話人連絡会	27	第三者委員との連絡会						
	21	(若) ハッピー班慰労会	27	第 54 回評議員会						
	27	虐待防止委員会								
	27	(若) スマイル班慰労会								